

裏当て材・タブ材

種類と特徴

1. 裏当て材

裏当て材は、片面溶接をするときに使用するもので、良好な形状でかつ健全な裏ビードが得られます。裏当て材にはFAB、FBB、FRBおよびカタフラックスがあり、適用する溶接法ごとに使い分ける必要があります。

マグ溶接用の裏当て材については、各種裏当て材があります。適用する溶接材料、部材の状況に応じて選択してください。

なお、船級認定については546～559ページを参照してください。

溶 接 法		裏当て材の種類
サブマージアーク溶接	FAB	FAB-1
		FAB-3
マ グ 溶 接	FBB	FBB-3
	FRB	FRB-3
エレクトロガスアーク溶接	カタフラックス	KL-4

マグ溶接用裏当て材の種類と特徴

銘 柄	使 用 特 性				組 合 せ 溶 接 材 料	
	耐目違い性	曲がり部への適用	切断の容易さ	取りつけの簡便さ	ソリッドワイヤおよびフラックス入りワイヤ (MXシリーズ)	フラックス入りワイヤ (DWシリーズ)
FAB-3			x			
FBB-3	Tサイズ					
	Aサイズ					
FRB-3						

：非常に優れている ：優れている ：普通 ：やや劣る x：劣る

2. タブ材

タブ材には、マグ溶接で使用するBT-3があります。鉄骨の仕口部などの継手の両端部へ取りつけて、開先内を溶接するだけで端部に良好な外観を有するビードを得ることができるため、ガス切断、グラインダ仕上げといった後工程が省略でき、高効率で経済的な溶接ができます。